



MITSUKOSHI
三越劇場 〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店本館6階

樋口一葉の世界 2023



鶴澤賀寿(義太夫三味線)



内藤真代(箏)



本間豊堂(尺八)



成瀬誠志《上絵金彩人物図花瓶(一対)》
明治時代前期 岐阜県現代陶芸美術館蔵

奥山真佐子ひとり芝居 「うもれ木」

◎日時： 2023年10月14日(土) 午後3時開演(午後2時半開場)

◎料金： 6,000円(全席指定・税込)

◎ご予約・お問合せ： 三越劇場 お電話 0120-03-9354(午前10時～午後6時)

<http://mitsukoshi.mistore.jp/bunka/theater/>

ご予約・前売開始は8月16日(水)午前10時
(前売初日はお電話・インターネット予約のみ)

イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン・スマホ)

企画制作：いちまるよん <http://www.okuyama104.com/>

～ 物語 ～

腕があるのに世に埋もれ、赤貧の生活を送る薩摩焼の絵付師・入江籙三、その兄を助け家計をきりもりしている無二の妹のお蝶。籙三に海外博覧会への出品をすすめるべく登場する籙三のかつての相弟子・篠原辰雄。

籙三が精根傾けた百花これより乱れ咲く台付龍耳の花瓶一対が完成した時、お蝶の心は辰雄の虜となって……

～奥山は尺八を相手役に「籙三」を、箏の音と共に「お蝶」を演じ、
花瓶完成後の籙三の無念を義太夫で語る～

三越劇場13年目公演は、20歳の一葉さんが次兄の虎之助(薩摩焼の絵付師)をモデルに書いたと言われる作品。その虎之助の師匠・成瀬誠志の花瓶(チラシ表)が岐阜県現代陶芸美術館を皮切りに巡回。公演前後、三井記念美術館「超絶技巧、未来へ! 明治工芸とそのDNA」(9月12日～11月26日)でご覧いただけます。

「樋口一葉の世界2023奥山眞佐子ひとり芝居・うもれ木」の舞台と共に、是非お立ち寄りください。(奥山 眞佐子)

脚本：英次ともゑ 演出：鈴木龍男 所作指導：花柳奈千穂 美術：佐々波雅子
照明：須藤実 義太夫作曲：鶴澤賀寿 口上：竹本越里 箏作曲：小二田茂幸
床山：武川卓男 美粧：浅利悦子 制作：川上よう子 舞台監督：稲元 洋平
チラシ・ポスター：飛澤 伸彦



原作：樋口一葉 (東京生まれ。両親は現在の山梨県甲州市塩山出身)

当時の考え方「女子にながく学問をさせなんは、ゆくゆくのためよろしからず」により進学できず。その後、歌塾「萩の舎」にて教養を身に付けて日本初の女性職業作家と好評を得るが、1896(明治29)年11月23日 24歳で旅立つ。2004年、五千円紙幣の肖像の人に。



奥山眞佐子 (山梨県甲府市出身。文教大学文芸科卒)

ホームページ：<http://www.okuyama104.com/>

樋口一葉の原文に少々の注釈や工夫を加えた脚本と、生演奏との共演による「ひとり芝居」公演は、黙読では得がたい魅力的な世界と好評を得る。

樋口一葉の世界26年目の今年は、一葉が愛する義太夫への初挑戦。

一葉生誕 140 周年NHK「視点論点」で、樋口一葉への想いを語る。

*受賞：御園座社長賞／細うで繁盛記賞／山人会・第33回前田晁文化賞

つるぎわかず 鶴澤賀寿(大阪府出身)



義太夫教室
第48期修了
平成9年竹本駒之助に
入門
16年義太夫協会
新人奨励賞

ないとうみちよ 内藤眞代(福井県出身)

福井県文化協議会
新人賞受賞
NHK邦楽技能者育成会
第46期
大久保スタジオM中心に
活動



ほんまとよたか 本間豊堂(東京生まれ)

「本間豊堂の尺八徹底音
出し実験室」を月刊邦
楽ジャーナルに連載す
る
YouTube「ホンマの尺
八教室」配信



協力：文教大学学園 / 文京区 法眞寺 / 甲州市 常泉寺 / 鎌倉市 楠木清方記念美術館 / 一葉記念館 / 岐阜県現代陶芸美術館 / 三井記念美術館 / 本郷図書館 / 隅外記念館 / 銀座屋上ギャラリー 枝香庵 / 京都&鎌倉 伊と彦 / 文京区 喫茶ルオー / かまくら駅前蔵書室 / 新宿あいうえお / 大久保スタジオM

企画制作：いちまるよん 〒221-0834 横浜市神奈川区台町 11-25-203 e-mail:info@okuyama104.com